



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船越 義和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部本部長 (氏名) 佐塚 眞弘

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,257	3.7	875	25.2	1,146	31.1	748	20.4
29年3月期第3四半期	14,717	1.0	699	21.6	875	4.3	621	4.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,393百万円 (117.2%) 29年3月期第3四半期 641百万円 (65.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	27.88	
29年3月期第3四半期	23.14	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	24,058	17,105	71.3
29年3月期	22,231	16,006	72.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 17,141百万円 29年3月期 16,042百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		11.00	11.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金10円00銭 記念配当金1円00銭

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	3.4	850	37.0	1,100	28.4	750	5.0	27.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	29,748,200 株	29年3月期	29,748,200 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,895,794 株	29年3月期	2,895,754 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	26,852,410 株	29年3月期3Q	26,852,543 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が進み、景気は総じて緩やかな回復基調が続いております。

精糖業界においては、消費が減少傾向にあるなか、加糖調製品や異性化糖及び他甘味料の浸食など厳しい販売状況が続いております。

この様な環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるなか、砂糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,257百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益875百万円（同25.2%増）、経常利益1,146百万円（同31.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益748百万円（同20.4%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 精糖

精糖事業においては、菓子、冷蔵向けの販売が好調な荷動きでありましたが、夏場の飲料向け販売が伸び悩み、期待された年末需要でも回復することはできず、販売数量は前年同期を下回りました。利益面では引き続き、効率的な原料調達や製造コスト削減に努めた結果、増益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高9,323百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益1,127百万円（同7.4%増）の減収増益となりました。

#### ② 機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、整腸作用、血糖値抑制、血中脂質低減に関する機能性表示が受理されたことに加え、低糖質ブームが追い風となり、国内新規採用が増加し増収となりました。連結子会社ユニテックフーズ(株)は主力製品ゼラチンの販売が回復し、その他の商品群も拡販効果により増収となりました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高5,363百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益13百万円（前年同期営業損失91百万円）の増収増益となりました。

#### ③ 不動産

不動産事業の業績は、売上高460百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益411百万円（同2.4%増）の増収増益となりました。

#### ④ その他食品

その他食品は、DAY PLUS (THAILAND) Co., Ltd. の製パン事業であります。業績は売上高110百万円（前年同期比45.4%増）、営業損失99百万円（前年同期営業損失80百万円）の増収減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8.2%増加し、24,058百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

#### ① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ5.1%増加し、9,790百万円となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ10.5%増加し、14,267百万円となりました。これは主に有形固定資産に含まれる土地及び投資有価証券の増加等によるものであります。

#### ② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ11.0%増加し、4,243百万円となりました。これは主に買掛金及び「その他」に含まれる未払消費税等の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ12.9%増加し、2,710百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる繰延税金負債の増加等によるものであります。

#### ③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6.9%増加し、17,105百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加及び時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期までの連結業績は各事業とも好調に推移し、当初計画に対し増益となりました。第4四半期においては為替相場などの不確定要素もありますが、当第3四半期までの連結業績を踏まえ、平成30年3月期の通期業績予想につきまして、平成29年4月28日公表の当初予想を修正いたしました。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,782,586	2,644,239
受取手形及び売掛金	2,558,594	2,839,727
有価証券	301,047	301,115
商品及び製品	1,824,765	1,972,132
仕掛品	154,957	100,064
原材料及び貯蔵品	1,472,434	859,761
その他	1,223,667	1,078,893
貸倒引当金	△4,109	△5,083
流動資産合計	9,313,943	9,790,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	839,796	824,271
機械装置及び運搬具(純額)	995,180	967,601
土地	2,046,860	2,527,435
建設仮勘定	47	—
その他(純額)	92,498	90,207
有形固定資産合計	3,974,384	4,409,515
無形固定資産		
のれん	393,946	304,925
その他	80,250	113,755
無形固定資産合計	474,196	418,681
投資その他の資産		
投資有価証券	6,348,699	7,378,580
関係会社長期貸付金	1,876,709	1,830,140
その他	267,900	249,112
貸倒引当金	△24,710	△18,517
投資その他の資産合計	8,468,598	9,439,316
固定資産合計	12,917,179	14,267,514
資産合計	22,231,123	24,058,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,498,110	1,758,750
短期借入金	1,430,302	1,397,283
未払法人税等	161,347	182,022
賞与引当金	107,032	58,998
その他	627,123	846,104
流動負債合計	3,823,916	4,243,158
固定負債		
長期借入金	1,000,750	1,063,546
退職給付に係る負債	63,122	28,032
資産除去債務	65,331	65,823
その他	1,271,056	1,552,759
固定負債合計	2,400,261	2,710,162
負債合計	6,224,177	6,953,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,077,791	2,049,343
利益剰余金	11,245,427	11,698,551
自己株式	△717,003	△717,025
株主資本合計	14,130,675	14,555,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,869,283	2,550,623
為替換算調整勘定	83,422	70,725
退職給付に係る調整累計額	△41,319	△34,979
その他の包括利益累計額合計	1,911,387	2,586,369
非支配株主持分	△35,117	△36,655
純資産合計	16,006,946	17,105,044
負債純資産合計	22,231,123	24,058,365

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	14,717,594	15,257,315
売上原価	11,456,423	11,743,453
売上総利益	3,261,170	3,513,861
販売費及び一般管理費	2,561,323	2,637,961
営業利益	699,847	875,900
営業外収益		
受取利息	27,957	22,742
受取配当金	61,404	64,523
為替差益	9,725	51,883
持分法による投資利益	83,363	120,823
その他	25,832	33,364
営業外収益合計	208,283	293,337
営業外費用		
支払利息	24,507	22,309
その他	8,588	61
営業外費用合計	33,096	22,371
経常利益	875,034	1,146,866
特別利益		
固定資産売却益	143,959	264
投資有価証券売却益	121,047	-
特別利益合計	265,006	264
特別損失		
固定資産除却損	263	433
減損損失	340,305	15,285
投資有価証券償還損	-	2,472
特別損失合計	340,568	18,190
税金等調整前四半期純利益	799,472	1,128,939
法人税、住民税及び事業税	381,987	369,149
法人税等調整額	63,815	38,504
法人税等合計	445,803	407,654
四半期純利益	353,668	721,285
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△267,769	△27,215
親会社株主に帰属する四半期純利益	621,437	748,500

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	353,668	721,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	309,392	681,339
為替換算調整勘定	△27,526	△15,467
退職給付に係る調整額	5,916	6,340
その他の包括利益合計	287,782	672,212
四半期包括利益	641,451	1,393,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	921,834	1,421,428
非支配株主に係る四半期包括利益	△280,383	△27,930

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成 28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,357,230	4,834,914	449,639	75,809	14,717,594	—	14,717,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,240	—	1,240	△1,240	—
計	9,357,230	4,834,914	450,880	75,809	14,718,835	△1,240	14,717,594
セグメント利益 又は損失(△)	1,049,906	△91,305	401,636	△80,651	1,279,586	△579,738	699,847

(注) 1 セグメント利益の調整額579,738千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「機能性素材」セグメントにおいて340,305千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成 29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,323,900	5,363,137	460,023	110,254	15,257,315	—	15,257,315
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,867	—	2,833	—	6,701	△6,701	—
計	9,327,768	5,363,137	462,857	110,254	15,264,017	△6,701	15,257,315
セグメント利益 又は損失(△)	1,127,524	13,541	411,095	△99,312	1,452,849	△576,949	875,900

(注) 1 セグメント利益の調整額576,949千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。